

道外研修 東北コース (3日目)

報告者: 1年C組 日下大地

～震災体験者の方のお話～

南三陸ホテル観洋の従業員であり、震災を体験した伊藤さんに震災についての話をして頂きました。本震は立ってられないほどの揺れが6分続き、その後の津波で町はあっという間に飲み込まれたそうです。高さ5.5メートルの防波堤を越す津波がきたことから、災害に強い街を作るために高台に街を作る取り組みをしていることを知りました。しかし町では一部の場所しか復興しておらず、まだ仮設住宅に住んでいる人もたくさんいるようです。伊藤さんは「普通・当たり前はすごく大切なこと、災害にあって得たものを次に生かすことが大事」と言っていました。



これは南三陸観洋ホテルで撮った日の入りの写真です。太陽の光が水面に反射している光景は、とても綺麗でした。この海の水が、町を襲ったとは見ていてとても思えませんでした。



これは南三陸町にあるモアイ像です。今から約45年前の1960年に、チリ地震でおきた津波が南三陸町にもきて被害にあいました。それによりチリから復興と絆の証として、贈られたのがこのモアイ像です。